国・特別天然記念物

カモシカ　地域を定めず（富山県）

カモシカ（ニホンカモシカ）は、偶蹄目・ウシ科・カモシカ属に入る哺乳類で、中国地方を除く本州、四国、九州に生息する日本固有種である。雄雌どちらも15cmほどの角をもち、脚は太く短い。富山県では、北アルプス（朝日町から富山市大山町）や、白山（南砺市）地域に多く生息し、魚津市でも山地付近でよく見かけられる。

かつては防寒用の毛皮や装飾用の角などの利用の為に乱獲され、さらに森林伐採によって生息場所が減少したことから、その数が激減した。このため昭和30年に特別天然記念物に指定され、以後手厚い保護を受けてきた。以前は、標高の高い森林地帯で生活し、岩場や絶壁にいるためなかなか姿を見ることができなかったが、近年は各地で数が増え、平野部でも姿を見せるようになり、交通事故や食害による林業被害も生じてきている。